

登録コード	A3Y60200		開講年度	2026			
授業科目	ボランティア					担当教員	濱渦 康範
英文授業名							竹野 誠記・根本 和洋・福山 泰治郎
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 5 Aカリ						
	【2025年度以降カリキュラム対象】4.【協働力】 多様な価値観を理解し、他者との対話を通じて、課題に取り組むことができる。					現場での体験や対話を通して、幅広い見識と適切な倫理観を備え、社会的な行動ができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・本科目では、大学内外でのボランティア活動の実践を通し、ボランティア精神を醸成させる。また、ボランティア活動での学びを通して、幅広い見識や倫理観をもって、社会の平和・持続的発展のために行動できる能力や他者とのコミュニケーション能力を養う。 ・合計30時間以上のボランティア活動を実施する。履修生は事前の申請が必要となる。						
(5)授業計画	履修希望の場合は、必ず事前に農学部学務グループへ相談すること。 【履修手続き】 ・履修希望者は事前にボランティア先を決定の上、以下の手続きを行うこと。 なお、必要な書類の様式は農学部学務グループで配布している。 「計画書」「事前レポート」の作成・提出 提出期限：ボランティア実習初日の2週間前（厳守） 提出先：農学部学務グループ 「計画書」「事前レポート」を所属コース教務委員が確認し、単位化可能と判断された場合に、学務が履修登録を行う。 「活動報告書」「評価書」の作成・提出 「活動報告書」は履修者が作成する。「評価書」は実習先担当者（または責任者）が作成、厳封する。 提出期限：ボランティア実施後 1 ヶ月以内 1月～3月の実習については、年度内に成績評価を行うため、実習後1週間内に提出すること。 提出先：農学部学務グループ 【単位化の条件】 ・実働30時間以上の活動であること。（複数のボランティアを合算することも可能） ・無償で行う活動であること。（賃金、報酬なし） ・他の授業時間とボランティア活動時間が重ならないこと。 ・受入先で「評価書」を作成していただけること。（依頼は、履修者自身が行う） <ボランティアの例> ・災害ボランティア ・高齢者などの農林業・農林家支援 ・市町村などの地域に貢献した活動 ・学内ボランティア活動も10時間まではボランティア活動時間に合算可。 実習後、各自キャンパス情報システムから授業アンケート（振り返り）に回答する。						
(6)自主学習の指針	学業の支障にならないよう計画すること。目的を定めた上で臨むこと。						
(7)成績評価の基準	「計画書」「事前レポート」「活動報告書」「評価書」について、以下の点を確認する。 1.適切な活動を選択し、内容について適切に計画・記述されている。 2.「事前レポート」において、適切な目標設定がされている。 3.計画通りにボランティアを実施し、意欲的に取り組めている。 4.「活動報告書」において、取り組んだこと、目標に対しての結果、課題などが適切に記載されている。 5.「評価書」において不備がない。 合格水準は、上記5項目ができていれば「水準にある（可）」とし、3項目以上で特に優れている点があれば「やや上にある（良）」、4項目以上で特に優れている点があれば「かなり上にある（優）」、5項目全てにおいて特に優れている点があれば「卓越している（秀）」とする。						
(8)事前事後学習の内容	ボランティア先の指示に従って入念に事前準備を行うこと。						

(9)テストやレポートの予定	ボランティア実施前：「計画書」「事前レポート（A4用紙1枚）」を提出する。 ボランティア実施後：「活動報告書（A4用紙5枚程度）」「評価書（実習先機関が作成）」を提出する。
(10)成績評価の方法	「事前レポート」「実施計画書」「報告レポート」「ボランティア評価書」の内容を総合的に評価する。 評価は所属コースの教務・学生委員が行う。
(11)質問、相談への対応および連絡先	学務グループまたは、各コース教務・学生委員に質問、相談をしてください。 学務グループ連絡先：0265-77-1354 nshien shinshu-u.ac.jp は@にしてください。
(12)履修上の注意	・本授業は「計画書」「事前レポート」の提出をもって履修登録を行うため、履修登録期間中の履修登録は不要。 ・本授業は各学期の履修登録上限単位には含まれない。 ・ボランティアの実施に必要な経費は自己負担となる。 ・保険加入中であること（学研災学研賠、生協保険、ボランティア保険等）。 ・成績評価の観点から、受講者の家族や親族が実施者（評価者）となる活動は、履修（単位化）の対象外となる。
【教科書】	なし
【参考書】	なし